

8-4-30 政策・事業評価専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) 活動目標

当専門委員会は、主に道路系・河川系の計画系業務に関連する政策や事業評価に関する内容を扱っており、セミナー等の企画・開催、各種政策の最新動向や事業評価制度の把握、各種政策が展開されている現地の視察・研究を通じ、協会員や委員の実務的技術習得と技術水準の向上を目的としている。

(2) 専門委員会の開催

- a) 専門委員会の開催回数:5回(WGは適宜開催)
- b) 3つのWGによる活動
- c) セミナー1回、委員会内現地視察1回実施

(3) セミナーWG活動

河川、道路分野を中心に事業評価や政策評価に関わる最新動向を収集・整理し本委員会の場での情報提供とセミナーの企画・開催を行った。

- a) 令和7年セミナーテーマ:「地域の特性に合わせたリスク管理や流域治水・今後の地域整備のありかた」とし、交通と流域マネジメントの観点から講師2名によるセミナーを開催した。

①「人口減少下における地域構造の変化を想定した都市計画的流域治水(金沢大学 谷口 健司教授)」

②「人口減少社会と災害レジリエンス(防災科学技術研究所 塩崎 由人 研究員)」

b) 開催日時:12月2日(火)13:30~16:30

c) 会場:Web開催(講師と事務局は外部会議室)

d) 参加者数:196名(事前申し込みは212名)

また、本セミナーの動画については、編集後にCPD推進専門委員会へ提出した。

(4) 政策評価WG活動

本年度の現地視察は、令和7年8月にJR広島駅の駅ビル2階に路面電車が乗り入れたことや広島市中央公園でのエリアマネジメントの取り組みなどを有する広島市を選定し、9月に現地を視察した(委員会内有志)。

(5) 事業評価制度WG活動

今年度は下記5項目に関する動向把握調査を中心に各地整の事業評価監視委員会の開催動向、整備効果の内容に関する結果をとりまとめた。

また勉強会として、北海道更別村の更別スーパービレッジ構想(デジタル田園都市国家構想)の取り組みに関する企画を行ったが、諸事情により来年度開催とした。

- a) 事業評価手法に関する調査
- b) 事業評価等に関連する勉強会の企画検討
- c) 事業評価制度に関する動向把握
- d) 整備効果に関わる動向調査
- e) DXに関する先進事例調査

2. 次年度の活動について

セミナーWGは、政策・事業評価等に関する最新情報・話題等を基に、道路分野、河川分野を中心としたセミナーの企画・開催を行う。

また、それら分野に係る政策・事業評価に関する最新の話題・トピック等の情報を幅広く収集し、委員会の場で共有する。なお、来年度のセミナーは道路系のテーマを中心とした実施を想定している。

政策評価WGは、将来的にコンサル業務となりうる可能性のある新たな施策や先進的な取り組み事例を調査し、現地視察を企画・実施している。特に国土交通省の動きに着目し、注目すべき施策(WISENET2050、脱炭素、スマートシティや新たなモビリティ、ライドシェア、グリーン社会など)を選定し、それら施策が展開されている現地視察(遠方や日帰り圏)を念頭においた詳細な情報収集・整理を行っている。

事業評価WGは、引き続き、事業評価制度や事業評価関連マニュアルに関する調査、全国各地整の事業評価監視委員会の動向、各種整備効果の事例収集やDXに関する事例・動向調査等を実施するとともに、事業評価に関する動向や委員が興味を持っている話題などについて、勉強会の企画を行う。

(政策・事業評価専門委員会委員長 篠崎 毅)